

事例報告

特別支援学校小学部児童に対する 言葉のやりとりの指導

対象児童の実態

□ 自閉症

□ コミュニケーション面

- ・発音が不明瞭ながらも、教員の言葉の真似をしたり、見た物の名前を言ったりすることができる。
- ・慣れた人に対して、積極的に名前を呼んだり行動を真似たりする等、人と関わるのが好き。
- ・小中学部の教員に対して「おはよう」と伝えることができる。
(挨拶できたらトークンがたまる)
- ・言葉でのやりとりは受動的で、要求や報告が自発しにくい。
- ・アプリ「えこみゅ」で、要求・報告の練習をしてる。
- ・急な変更によく、不安定になったときには自傷行為をしたり、聞き覚えのある単語（アンパンマン、おかあさん等。その場面においては意味を成さない言葉）を叫んだりして怒りを伝えようとする。

保護者の願い

- 場面に応じたやりとりができるようになってほしい。
- 自傷行為が減ってほしい。

教員の願い

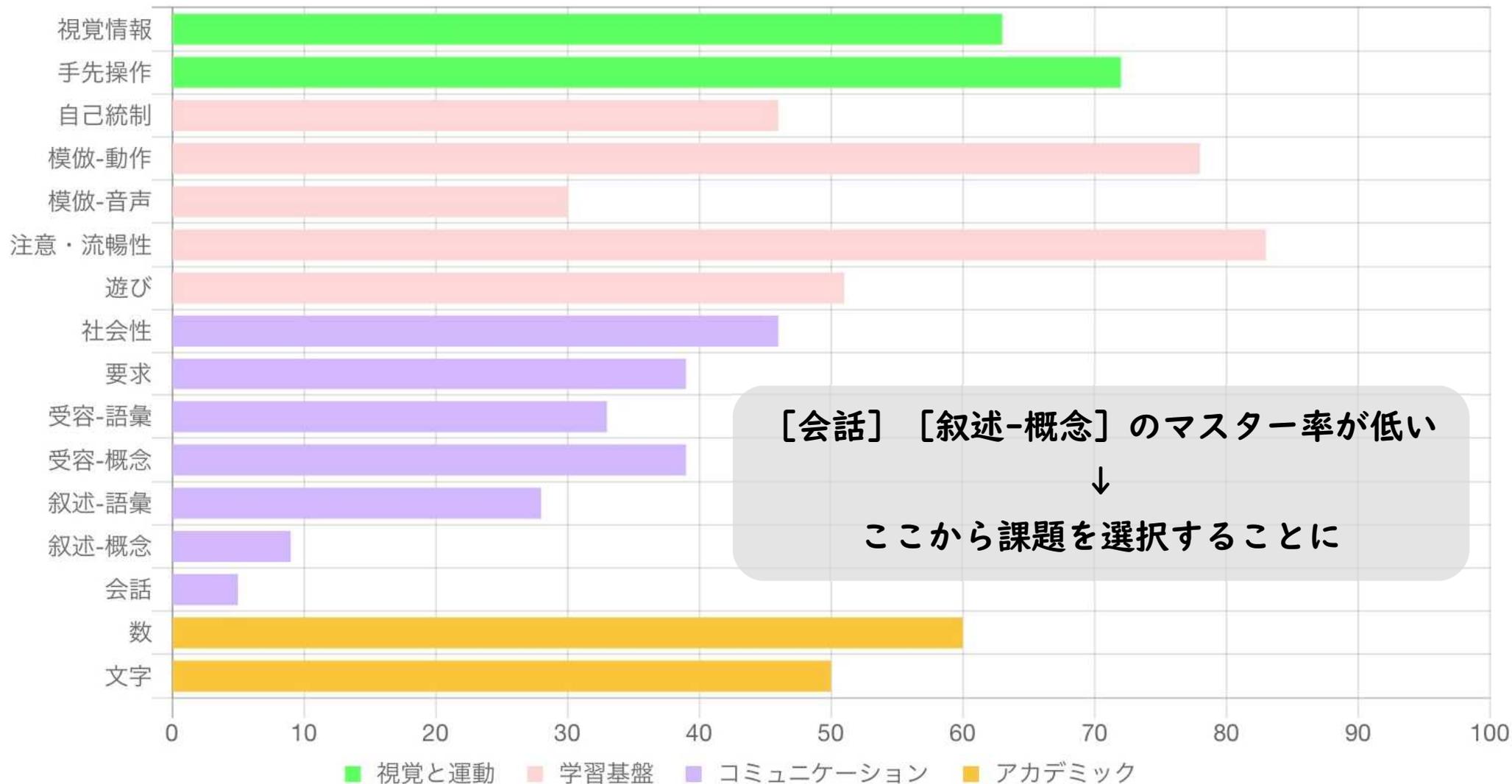
- 他者に対して、自発的なコミュニケーションをとることができるようになってほしい。



自発コミュニケーションのボトムアップを目標に

AI-PACの俯瞰図から

□ R5年8月時点でのマスター率



第1回コンサル

- 取り組みたい課題として、俯瞰図の中から6課題を選択
 - ① 要求 – [動詞の分化]
 - ② 会話 – [基本的挨拶]
 - ③ 会話 – [動詞の穴埋め]
 - ④ 会話 – [情報交換]
 - ⑤ 叙述-概念 – [事実のYES/NO]
 - ⑥ 叙述-概念 – [ある／ない]

- 本児の実態をビデオで確認いただき、上記の6課題のうち、どの課題を目標として設定すべきかご助言いただく。

目標設定ワークシート

課題	誰と	いつ	どこで	①	②	③	④	⑤	合計点	順位
動詞の分化	教員	日常生活	教室等	2	2	1	1	1	7	5
基本的挨拶	教員	日常生活	教室等	2	2	1	2	2	9	3
動詞の穴埋め	教員	対面課題	教室	2	1	1	1	2	7	5
情報交換	教員	対面課題	教室	2	2	2	2	2	10	1
事実のYES/NO	教員	対面課題	教室	2	2	1	2	2	9	3
ある/ない	教員	対面課題	教室	2	2	2	2	2	10	1

実現可能性項目

- ①ほぼ毎日取り組める
- ②無理をせず少しの時間で取り組める
- ③1～2週間で達成できる
- ④子どもが自信をもって取り組める
- ⑤教員が楽しく取り組める（負担が少ない、イライラしない）

第1回コンサルで助言いただいたこと

- 対象児童は行動レパートリーが多くあるが、社会的な関わりの中でうまく発揮できない様子が見られる。
- 取り組みたい課題の案としてあげた6課題のうち、[基本的挨拶]は日常生活の中での指導場面で達成が見込める。
- 達成後に発展課題として 会話 - [自己情報]に取り組んでもいいのではないか。

第1回コンサルを受けて

10月

2月



- 初めに [基本的挨拶] を指導。達成後に [自己情報] の指導をすすめる。
- さらに、Step 2 達成後には Step 1・2 の般化目標を設定し、指導実施する。

Step 1 [基本的挨拶]

□ 目標の設定

目 標 教員からの挨拶に、言葉で回答することができる。

期 間 10月16日～11月6日

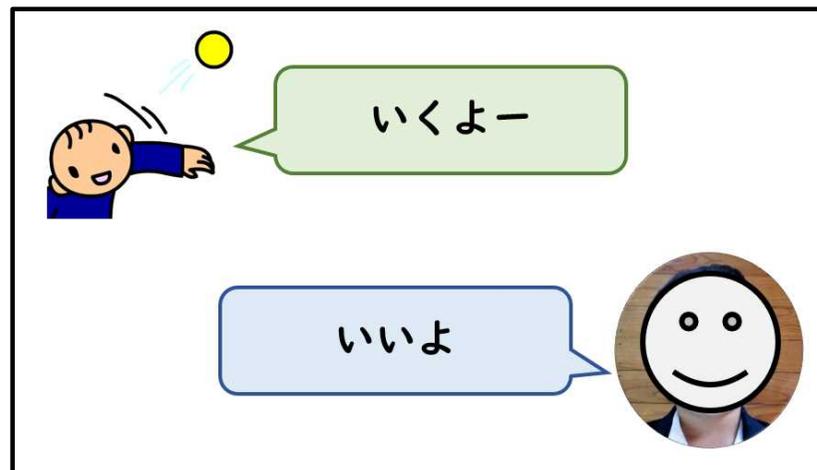
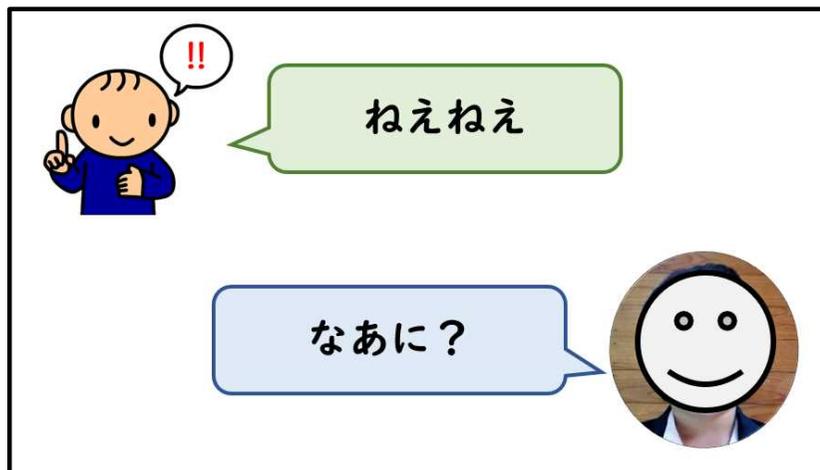
指導場面 対面課題

- 指導方法**
- ①回答することができたらポイントがもらえる。
指定ポイントまで貯まるとお菓子と交換できる。
 - ②初めは文字プロンプトで指導。
 - (1)単語の文字全てが記入されたヒントカード
 - (2)語頭音のみ記入されたヒントカード
 - (3)ヒントカードなし上記3段階でプロンプトをフェードアウトしていく。
エラー時は前段階のプロンプトを提示して再質問。
 - ③5回連続して全て正しく返事できたら達成。

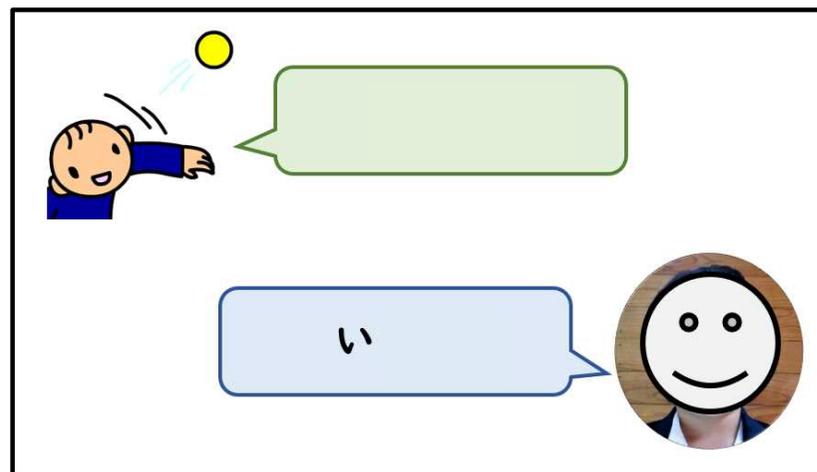
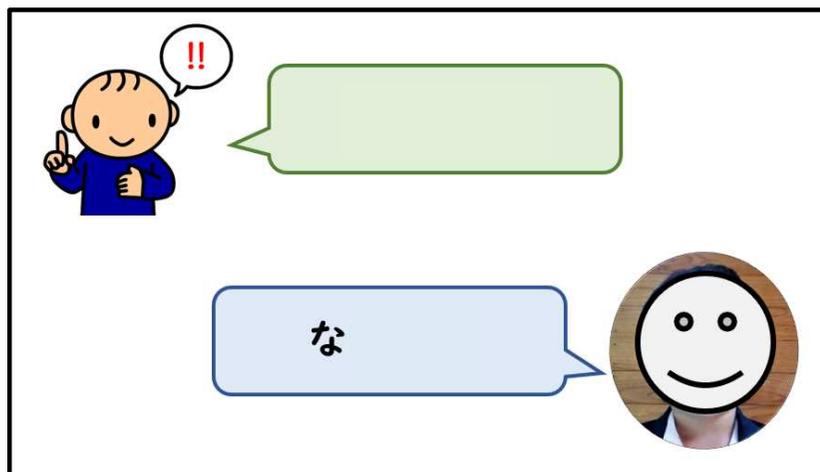
Step 1 [基本的挨拶]

□ ヒントカード

▶ 単語全て記入



▶ 語頭音のみ記入



Step I [基本的挨拶]

□ 記録方法

基本的挨拶

	BL			文字プロンプトあり（単語全て）				文字プロンプトあり（語頭音のみ）			プロンプト無		
	10/2	10/3	10/4										
どうぞ 「ありがとう」	+	+	+										
ねえねえ 「なあに」	- いやだ	- いやです	- しないの										
いくよ 「いいよ」	- はい	- はいよ	- 反応無										
ってきます 「いってらっしゃい」	- 反応無	- はい	- はい										

- BL ▶ 正答 → + 誤答/反応無し → -
- 文字プロンプト有りで指導する段階
 - ▶ 文字プロンプトで正答 → + 文字+他のプロンプトが必要 → P
 - 文字+他のプロンプトでも難しい → -
- 文字プロンプト無しで指導する段階
 - ▶ プロンプト無しで正答 → + 文字プロンプトが必要 → P
 - 文字+他のプロンプトが必要 → -

Step I [基本的挨拶]

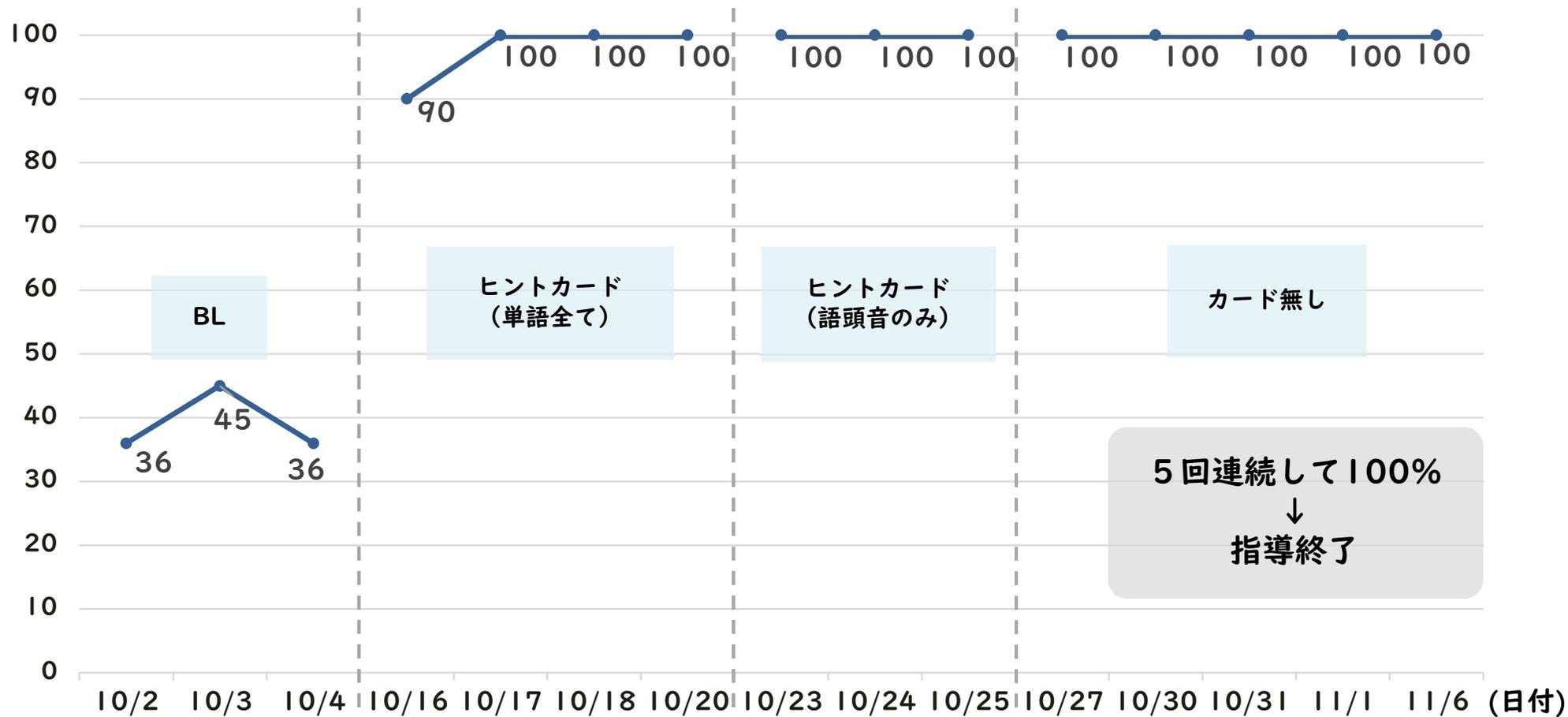
□ 指導の成果 (記録表)

	BL			文字プロンプトあり (単語全て)				文字プロンプトあり (語頭音のみ)			プロンプト無し				
	10/2	10/3	10/4	10/16	10/17	10/18	10/20	10/23	10/24	10/25	10/27	10/30	10/31	11/1	11/6
どうぞ 「ありがとう」	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ねえねえ 「なあに」	- いやだ	- いやです	- しないの	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
いくよ 「いいよ」	- はい	- はいよ	- 反応無	△	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
いってきます 「いってらっしゃい」	- 反応無	- はい	- はい	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
いれて 「いいよ」	- はい	- はい	- 反応無	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
おはよう 「おはよう」	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
こんにちは 「こんにちは」	+	+	- いやです	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
おやすみ 「おやすみ」	- 夏休み	- ちがーう	- だめです	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
さようなら 「さようなら」	- バイバイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
またね 「バイバイ」	- またね	- またね	- またね	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
元気? 「元気」	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
正答率	36%	45%	36%	90%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

Step I [基本的挨拶]

□ 指導の成果 (グラフ)

(正答率[%])



教員からの挨拶に、言葉で回答することができる。

$$\frac{\text{実施日における+の数}}{\text{挨拶の総数 (11)}} \times 100 = \text{正答率}$$

Step 2 [自己情報]

□ 目標の設定

目 標 教員からの本見に関する質問に、言葉で回答することができる。

期 間 11月6日～12月18日

指導場面 対面課題

- 指導方法**
- ①回答することができたらポイントがもらえる。
指定ポイントまで溜まるとお菓子と交換できる。
 - ②初めは文字プロンプトで指導。
 - (1)単語の文字全てが記入されたヒントカード
 - (2)語頭音のみ記入されたヒントカード
 - (3)ヒントカードなし上記3段階でプロンプトをフェードアウトしていく。
エラー時は前段階のプロンプトを提示して再質問。
 - ③5回連続して全て正しく返事できたら達成。

Step 2 [自己情報]

□ ヒントカード

▶ 単語全て記入

A comic panel illustrating a question and answer. On the left, a boy asks, "たんにんのせんせいは?" (Who is the teacher of tan?). A thought bubble above him shows two faces and a question mark. On the right, a woman answers, "Oせんせい Oせんせい".

A comic panel illustrating a question and answer. On the left, a boy asks, "たんじょうびは?" (What is the birthday?). A thought bubble above him shows a birthday cake and a question mark. On the right, a woman answers, "6がつ11にち".

▶ 語頭音のみ記入

A comic panel illustrating a question and a blank answer. On the left, a boy asks, "たんにんのせんせいは?". A thought bubble above him shows two faces and a question mark. On the right, a woman has a blank speech bubble.

A comic panel illustrating a question and a partial answer. On the left, a boy asks, "たんじょうびは?". A thought bubble above him shows a birthday cake and a question mark. On the right, a woman has a speech bubble containing the number "6".

Step 2 [自己情報]

□ 記録方法

自己情報

	BL			ヒントカード (単語全て)				ヒントカード (語頭音のみ)			カード無	
	11/2	11/6	11/7									
お名前は? 「Y・R」	+	+	- いやだ									
何歳? 「8歳」	- <small>6ねんせい あ、2ねんせい</small>	- 2ねんせい	- 2ねんせい									
お父さんの名前は? 「〇〇〇」	- おとうさん	- K先生	- K先生									
お母さんの名前は? 「△△△」	- おかあさん	- O先生	- O先生									

プロンプトが必要だった場合は、
プロンプトの種類も記入した

- BL ▶ 正答 → + 誤答/反応無し → -
- 文字プロンプト有りで指導する段階
 - ▶ 文字プロンプトで正答 → + 文字+他のプロンプトが必要 → P
 - 文字+他のプロンプトでも難しい → -
- 文字プロンプト無しで指導する段階
 - ▶ プロンプト無しで正答 → + 文字プロンプトが必要 → P
 - 文字+他のプロンプトが必要 → -

Step 2 [自己情報]

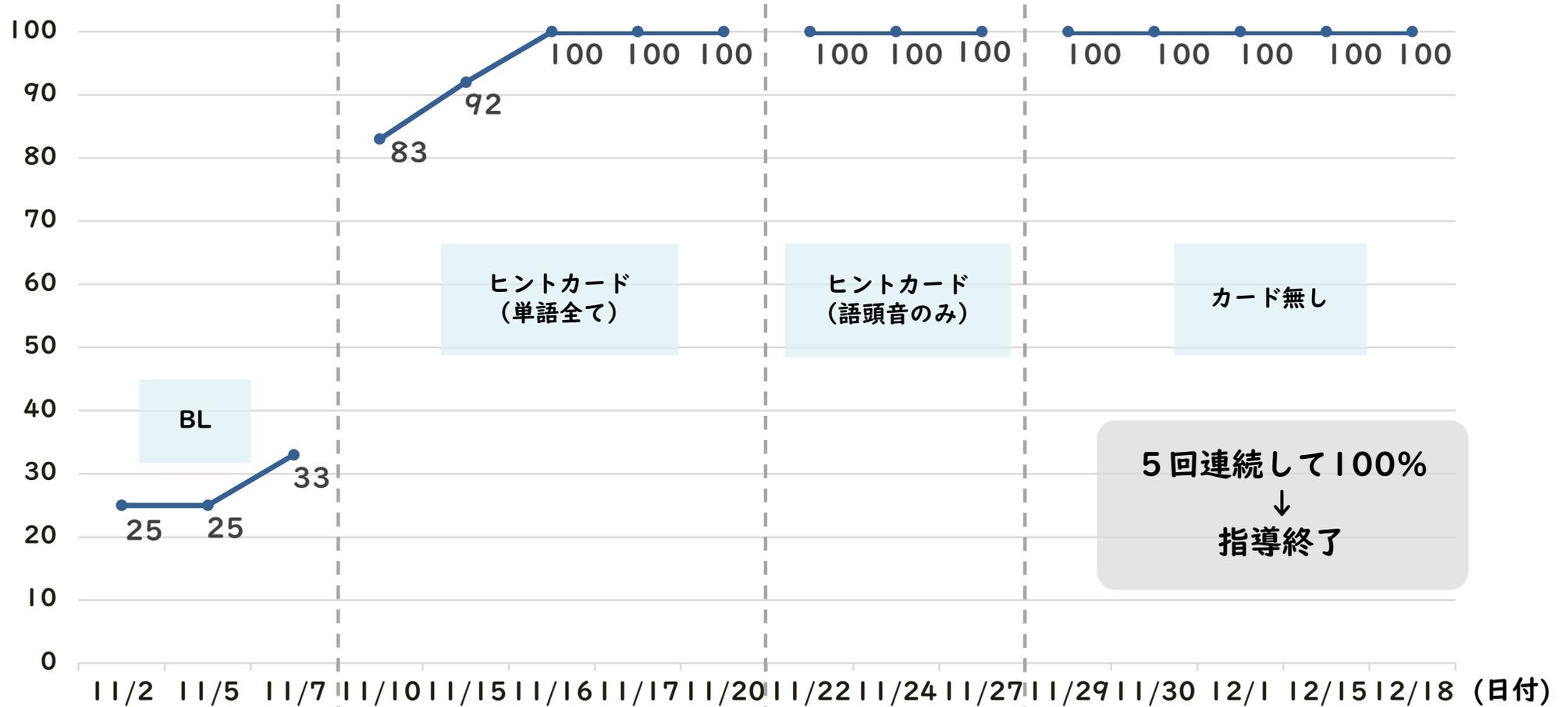
□ 指導の成果 (記録表)

	BL			ヒントカード (単語全て)					ヒントカード (語頭音のみ)			カード無し				
	11/2	11/6	11/7	11/10	11/15	11/16	11/17	11/20	11/22	11/24	11/27	11/29	11/30	12/1	12/15	12/18
お名前は? 「Y・R」	+	+	- いやだ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
何歳? 「8歳」	- <small>6ねんせい あ、2ねんせい</small>	- 2ねんせい	- 2ねんせい	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
お父さんの名前は? 「〇〇〇」	- おとうさん	- K先生	- K先生	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
お母さんの名前は? 「△△△」	- おかあさん	- O先生	- O先生	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
学校は? 「ひわさ分校」	- 反応無	- □□小学校	- □□小学校	P 音声P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
何組? 「小1くみ」	- 学校	- 学校	- 反応無	P 音声P	P 音声P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
何年生? 「2ねんせい」	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
担任の先生は? 「O先生とO先生」	- 反応無	- O先生	- ~~先生	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
誕生日は? 「6月11日」	- ありがとう	- 2ねんせい	- ありがとう	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
好きな食べ物は?	- 反応無	- 反応無	+カレー	+大根	+大根	+ブロッコリー	+バナナ	+バナナ	+バナナ	+バナナ	+バナナ	+バナナ	+バナナ	+バナナ	+バナナ	+バナナ
好きな色は?	+紫	+紫	+青	+緑	+紫	+緑	+黒	+黒	+黒	+黒	+黒	+黒	+黒	+黒	+黒	+黒
好きな動物は?	+ゴリラ	+アシカ	+アシカ	+カラス	+おうしとゴリラ	+ブタ	+ネコ	+ネコ	+ネコ	+ネコ	+ネコ	+ネコ	+ネコ	+ネコ	+ネコ	+ネコ
正答率	25%	25%	33%	83%	92%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

Step 2 [自己情報]

□ 指導の成果 (グラフ)

(正答率[%])



教員からの本見に関する質問に、言葉で回答することができる。

$$\frac{\text{実施日における+の数}}{\text{質問の総数 (12)}} \times 100 = \text{正答率}$$

Step 1・2の般化

□ Step 1・2の指導

- ・特定の教員（担任1名）とのやりとりで指導
- ・トークンを活用して、課題の最後には必ず好子がもらえる

□ 目標達成後

- ・指導を実施した教員に対しては、課題場面以外（休憩や日常生活の指導の時間等）での質問に返答することができた
- ・その際にトークンの提示はしていない



質問する人が変わっても返答することができるか

Step 1・2 [般化目標]

□ 目標の設定

目 標 小・中学部教員からの挨拶や質問に、言葉で回答することができる。

期 間 1月10日～1月16日

指導場面 学校生活全体を通して

- 指導方法**
- ①本児に対して、小中学部教員が挨拶や質問をする場面を設定する。
 - ②挨拶や質問に対して返答することができたら大いに称賛する。
 - ③難しい場合は語頭音を言葉で伝えて促す。
 - ④教員1人あたりの正答率および、各挨拶／質問ごとの正答率が60%以上で達成とする。

Step 1・2 [般化目標]

□ 記録方法

	評価 / 場面	評価 / 場面	評価 / 場面
どうぞ 「ありがとう」			
	評価 / 場面	評価 / 場面	評価 / 場面
ねえねえ 「なあに」			
	評価 / 場面	評価 / 場面	評価 / 場面
いくよ 「いいよ」			

	評価 / 場面	評価 / 場面	評価 / 場面
お名前は？			
	評価 / 場面	評価 / 場面	評価 / 場面
何歳？ 「8さい」			
	評価 / 場面	評価 / 場面	評価 / 場面
お父さんの名前は？ 「〇〇」			

- ▶ プロンプト無しで正答 → +
- 文字や音声等のプロンプトが必要 → P
- プロンプトがあっても難しい必要 → -

- 小中学部教員にそれぞれ記録用紙を配付。
- 実施期間中にそれぞれ実践と記入をしてもらい、記録用紙を回収・結果を集計した。

Step 1・2 [般化目標]

□ 結果 (基本的挨拶)

	挨拶／質問した教員														質問別 正答率
	A先生		B先生				C先生		D先生						
	評価	場面	評価	場面	評価	場面	評価	場面	評価	場面	評価	場面	評価	場面	
どうぞ 「ありがとう」	+	給食 台拭き中	+	日生	+	課題中			+	ランドセルカ バーを直 した後	+	ペーパー ホルダーを渡 した後	+	カバン を渡した 後	100%
ねえねえ 「なあに」	+	絵を描 いている時	+	日生	+	課題中			P どうした の?	日生	+	昼休み			80%
いくよ 「いいよ」	P ないよ	体育 出発前	+	昼休み	+	課題中			+	下校	+	教室移動	+	休み時間	83%
ってきます 「いってらっしゃい」	+	登校時	P はい	日生	+	日生			+	下校	+	休み時間	+	休み時間	83%
いれて 「いいよ」	+	いや	+	休み時間	+	日生	+	課題中	+	昼休み	+	いやだ	+	昼休み	100%
おはよう 「おはよう」	P	教室に 入る直前	+	課題中	+	日生			+	日生	+	日生	+	日生	83%
こんにちは 「こんにちは」	+	教室 移動中	+	課題中					+	昼休み	+	昼休み			100%
おやすみ 「おやすみ」	P	給食中	+	課題中											50%
さようなら 「さようなら」	+	体育 出発前	+	課題中					+	下校	+	下校			100%
またね 「バイバイ」	+	教室を 出るとき	+	課題中					+	給食	+	下校			100%
元気? 「元気」	+	元気です	+	日生 遊び中	+	課題中	+	休み時間	+	昼休み	+	休み時間	+	昼休み	100%
教員別正答率	75%		94%				100%		94%						89%

Step 1・2 [般化目標]

□ 結果 (自己情報)

	挨拶／質問した教員														質問別 正答率
	A先生		B先生				C先生		D先生						
	評価	場面	評価	場面	評価	場面	評価	場面	評価	場面	評価	場面	評価	場面	
お名前は？ 「Y・R」	+	昼休み	+	日生	+	課題中			+	図工	+	休み時間	+	給食後	100%
何歳？ 「8歳」	-	給食中 トイレに 行きたい	+	日生	+	課題中			+	昼休み	+	休み時間	+	給食後	83%
お父さんの名前は？ 「〇〇〇」	-	母の名前	+	日生	+	課題中			+	昼休み	+	休み時間	+	昼休み	83%
お母さんの名前は？ 「△△△」	+	休み時間 遊ぶ前	+	日生	+	課題中			+	昼休み	+	休み時間	+	昼休み	100%
学校は？ 「ひわさ分校」	-	〇〇小学校	+	図工	+	課題中			+	休み時間	+	昼休み	+	昼休み	83%
何組？ 「小1くみ」	+	昼休み	+	図工	+	課題中			+	昼休み	+	休み時間	+	休み時間	100%
何年生？ 「2ねんせい」	+	休み時間	+	図工	+	課題中			+	休み時間	+	休み時間	+	給食後	100%
担任の先生は？ 「O先生とO先生」	+	昼休み	+	図工	+	課題中	+	休み時間	+	図工	+	休み時間	+	給食後	100%
誕生日は？ 「6月11日」	+	廊下 移動中	+	図工	+	課題中			+	休み時間	+	昼休み	+	昼休み	100%
好きな食べ物 は？	+	かき	+	日生	+	みかん			+	下校前	+	昼休み	+	給食後	100%
好きな色は？	+	オレンジ	+	みどり	+	体育 (徒歩)	+	みどり	+	休み時間	+	昼休み	+	昼休み	100%
好きな動物は？	+	さる	+	日生	+	ねこ	+	体育 (徒歩)	+	ゴリラ	+	昼休み	+	昼休み	100%
教員別正答率	75%		100%				100%		100%						95%

[般化目標]

□ 結果

- 試行回数が多く、かつ正答率も高いD先生は、発問前に肩をたたいたり前方からの言葉かけをしたり等、注目を促す支援をしていたとのこと。
- 活動途中やすれ違い際に質問をする等の教員への注目が難しい場面では、誤答となることもあった。
- ▶ 人の違いによる誤答ではなく、環境の違いによる誤答ではないかと考察することができた。

まとめ①

□ 成功のポイント

- ・ ヒントカードの形式

文字だけでなく吹き出しを用いたことで、本児が何を答えるべきか、視覚的に分かりやすく提示することができた。

- ・ トークンエコノミーシステムの活用

別課題で活用し、本児の理解もすすんでいたトークンエコノミーシステムを活用することで、意欲を持って課題に取り組むことができた。

□ 目標達成以外の成果

- ・ 「初めに視覚的プロンプトを提示しフェードアウトする」「支援者に注目できている場面では正答しやすい」という、本児に有効な学習の方法が分かった。

まとめ②

□ 今後の課題

- 他の挨拶や質問への返答を学習
- 「入れて」「いくよ」に対しての「いやだ」、「元気？」に対しての「元気がない／疲れた」等、本児の感情や状態に応じた返答の使い分けの学習
第2回コンサルでの助言
- 好きなものを尋ねる回答に対して、真に本児の好きなものを答えることができるよう、「好きな○○」「嫌いな○○」の弁別学習
第2回コンサルでの助言
- 質問者に注目できていないときにされた質問に対して正しく答えることができるか。
 - ▶ 聞き取れなかったときの対応として、「なあに?」「もう一回」「教えてください」などの聞き返しのスキルを指導